

# 10月 イチゴ栽培管理（2024）

アグリ技研（株）

日	生育期	肥培管理
1日	生殖成長期	①腋果房対策には日中下温対策での遮光資材被覆 ②蒸散を活発化にして停滞をさせない様にカルシウム使用（カル元気又は有機カルトップの施肥）
2日		
3日		品種により腋果房対策で定期的にPKや珪酸を施肥します。「PKゴー2000倍の葉面散布」や「シリカ水1000倍」（2果房対策）
4日		
5日		
6日		
7日		栄養成長期
8日		
9日		
10日		
11日		
12日		
13日		
14日	腋果房対策には日中下温での遮光資材	
15日		
16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2果房分化確認とマルチ前の追肥に「味太郎」2～3袋</li> <li>・マルチ後には発根促進・肥料吸収向上に「アミクエ」5kgの灌水処理。</li> <li>・<u>20日前後は防除適期になります。</u></li> </ul>	
17日		
18日		
19日		
20日		
21日		
22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビニール被覆は外気温15～17℃前後で被覆しましょう。極端に早い被覆は徒長や花芽分化果実肥大に影響します。</li> <li>・草勢強や徒長生育には「PKゴー2000倍」の葉面散布。</li> <li>・<u>25～28日前後は防除適期になります。</u></li> </ul>	
23日		
24日		
25日		
26日		
27日		
28日		
29日		
30日		
31日		
ポイント	中旬は品種や作型により、腋果房（2番果房）分化時期になりますので連続収穫するためには上旬から中旬の生育コントロールが必要になりますので肥料や灌水調整は十分に行いましょう。	